

## 別記 制動力の記載等

記載例(1) 2軸車

(自動車諸元)

乗車定員	車両重量	車両総重量	最高速度
5人	1220kg	1495kg	150km/h
前前軸重	前後軸重	後前軸重	後後軸重
670kg	-kg	-kg	550kg

区分	右	左	計	備考
主制動力	前輪	230kg	240kg	470kg
	後輪	180kg	160kg	340kg
駐車ブレーキ	170kg	160kg	330kg	

検査時車両状態は前軸重に55kgを加える。

[検査機器等による検査]

		制 動 力		
前	前前軸	右 ① 230kg	軸重 A	左右差 ⑧ 1.0%
	左 ② 240kg		725kg	⑨ 1.4%
軸	前後軸	右 kg	軸重	左右差 kg
	左 kg		kg	%
後	後前軸	右 kg	軸重	左右差 kg
	左 kg		kg	%
軸	後後軸	右 ③ 180kg	軸重 B	左右差 ⑩ 2.0%
	左 ④ 160kg		⑦ 61.8%	⑪ 3.7%
計	⑥ 810kg	車両重量 C	⑫ 63.5%	
手動	⑤ 330kg	1275kg	⑬ 25.8%	
走行テスト等の方法と結果				

- ①～⑤はテストの測定値を記載する。
- ⑥～⑬は計算値を記載する。(計算例参照)
- A～Cは検査時車両状態を記載する。
- Aは自動車検査証に記載された前軸重に「55kg」を加えた値を記載する。
- Bは自動車検査証に記載された後軸重を記載する。
- CはA・Bを加えた値の「検査時車両状態の重量」を記載する。
- 降雨等の天候条件によりブレーキ・テストのローラーが濡れていると自動車検査員が判断し、制動力の総和を自動車の重量で除した値が40%以上であることを適用した場合。制動力の総和を自動車の重量で除した値の欄に「湿」(又は「W」と記載する。

計	580kg ⑥	車両重量 C	湿 (W) ⑫ 45.4%
手動	330kg ⑤	1275kg	25.8% ⑬

「検査時車両状態」とは空車状態の自動車に運転者1名(55kg)が乗車した状態をいう。(以下において同じ。)

検査時車両状態の重量

計算例 (判定例)

		計	算	式	基準値
主制動力の総和 ⑫		(810)	(1220+55)		≥ 50%
		制動力の計⑥	÷ 車両重量 C	× 100 = 63.5%	
駐車制動力の総和 ⑬		(330)	(1220+55)		≥ 20%
		手動制動力⑤	÷ 車両重量 C	× 100 = 25.8%	
後輪制動力の総和 ⑦		(340)	(550)		≥ 10%
		後輪制動力の和③④	÷ 後軸重 B	× 100 = 61.8%	
制動力左右の差	前軸 ⑨	(10)	(670+55)	4	≤ 8%
		前軸重の左右差⑧	÷ 前軸重 A	× 100 = 1.37%	
	後軸 ⑪	(20)	(550)	7	≤ 8%
		後軸重の左右差⑩	÷ 後軸重 B	× 100 = 3.63%	

(注) 制動力の総和  
駐車制動力の総和  
後輪制動力の和  
制動力左右の差

小数点第2位の数を切り捨て、小数点第1位まで記載する。

・ 小数点第2位の数を切り上げ、小数点第1位まで記載する。

記載例(1)の2 軸車〔N単位表示の場合〕

(自動車諸元)

テストによる測定値 (daN) ×10=指定整備記録測定表への記載数値〔N〕

乗車定員	車両重量	車両総重量	最高速度
5 人	1 2 2 0 kg	1 4 9 5 kg	1 5 0 km/h
前前軸重	前後軸重	後前軸重	後後軸重
6 7 0 kg	- kg	- kg	5 5 0 kg

区分	右	左	計	備考
主制動力	前輪	2300N	2400N	4700N
	後輪	1800N	1600N	3400N
駐車ブレーキ	1700N	1600N	3300N	

検査時車両状態は前軸重に55kgを加える。

〔検査機器等による検査〕

制 動 力				
前	前前軸	右 ①	軸重 A	左右差 ⑧
		2 3 0 0 N		1 0 0 N
		左 ②		⑨
		2 4 0 0 N	7 2 5 kg	0. 1 4 N/kg
軸	前後軸	右	軸重	左右差
		N		N
		左		
		N	kg	N/kg
後	後前軸	右	軸重	左右差
		N		N
		左		
		N	N/kg	N/kg
軸	後後軸	右 ③	軸重 B	左右差 ⑩
		1 8 0 0 N	5 5 0 kg	2 0 0 N
		左 ④	⑦	⑪
		1 6 0 0 N	6. 1 8 N/kg	0. 3 7 N/kg
計		⑥	車両重量 C	⑫
		8 1 0 0 N		6. 3 5 N/kg
手動		⑤		⑬
		3 3 0 0 N	1 2 7 5 kg	2. 5 8 N/kg
走行テスト等の方法と結果		検査時車両状態の重量		

計算例 (判定例)

	計	算	式	基準値
主制動力の総和 ⑫	(8100N)	(1220+55kg)	制動力の計⑥÷車両重量C = 6. 3 5 2 N/kg	≥4.90N/kg
駐車制動力の総和 ⑬	(3300N)	(1220+55kg)	手動制動力⑤÷車両重量C = 2. 5 8 8 N/kg	≥1.96N/kg
後輪制動力の総和 ⑦	(3400N)	(550kg)	後輪制動力の和③④÷後軸重B = 6. 1 8 1 N/kg	≥0.98N/kg
制動力左右の差	前軸 ⑨	(100N)	(670+55)	4
		前軸重の左右差⑧÷前軸重A = 0. 1 3 7 N/kg		≤0.78N/kg
	後軸 ⑪	(200N)	(550)	7
		後軸重の左右差⑩÷後軸重B = 0. 3 6 3 N/kg		≤0.78N/kg

(注) 制動力の総和  
駐車制動力の総和  
後輪制動力の和  
制動力左右の差

・ 小数点第3位の数値を切り捨て、小数点第2位まで記載する。

・ 小数点第3位の数値を切り上げ、小数点第2位まで記載する。

- ①～⑤はテストの測定値を記載する。
- ⑥～⑬は計算値を記載する。(計算例参照)
- A～Cは検査時車両状態を記載する。
- Aは自動車検査証に記載された前軸重に「55kg」を加えた値を記載する。
- Bは自動車検査証に記載された後軸重を記載する。
- CはA・Bを加えた値の「検査時車両状態の重量」を記載する。
- 降雨等の天候条件によりブレーキ・テストのローラーが濡れていると自動車検査員が判断し、制動力の総和を自動車の重量で除した値が3.92N/kg以上であることを適用した場合。

制動力の総和を自動車の重量で除した値の欄に「湿」(又は「W」と記載する。

計	5750N ⑥	車両重量 C	湿 (W) ⑫
手動	3300N ⑤	1275kg	4.50N/kg
			2.58N/kg ⑬

「検査時車両状態」とは空車状態の自動車に運転者1名(55kg)が乗車した状態をいう。(以下において同じ。)



記載例(2) 2軸車

【前軸の全車輪又は駐車ブレーキの全ての車輪がロックし、それ以上の制動力を測定することが困難な場合】  
(自動車諸元)

乗車定員	車両重量	車両総重量	最高速度
5人	1220kg	1495kg	150km/h
前前軸重	前後軸重	後前軸重	後後軸重
670kg	-kg	-kg	550kg

区分	右	左	計	備考
主制動力	前輪	200kg	390kg	左右ロック
	後輪	130kg	240kg	
駐車ブレーキ	120kg	130kg	250kg	左右ロック

検査時車両状態は前軸重に55kgを加える。

〔検査機器等による検査〕

		制 動 力			
前	前前軸	右 ①	軸重 A	左右差 ⑧	
		190kg	全車輪ロック	10kg	
左 ②		⑨			
		200kg	725kg	1.4%	
軸	前後軸	右	軸重	左右差	
		kg		kg	
		kg	kg	%	
後	後前軸	右	軸重	左右差	
		kg	kg	kg	
		kg	%	%	
軸	後後軸	右 ③	軸重 B	左右差 ⑩	
		130kg	550kg	20kg	
		左 ④	⑦	⑪	
		110kg	43.6%	3.7%	
計		⑥	車両重量 C	⑫	
		630kg		49.4%	
手動		全車輪ロック⑤		⑬	
		250kg	1275kg	19.6%	
走行テスト等の方法と結果					

- ①～⑤はテストの測定値を記載する。  
前軸①及び②又は⑤はロック直前の数値を記載する。  
〔前軸が複数の場合はそれぞれの軸のロック直前の数値を記載する。〕
- ⑥～⑬は計算値を記載する。(計算例参照)
- A～Cは検査時車両状態を記載する。
- Aは自動車検査証に記載された前軸重に「55kg」を加えた値を記載する。
- Bは自動車検査証に記載された後軸重を記載する。
- CはA・Bを加えた値の「検査時車両状態の重量」を記載する。
- \_\_\_は、前軸の全車輪又は駐車ブレーキの全ての車輪がロックした場合の記載例。

「検査時車両状態」とは空車状態の自動車に運転者1名(55kg)が乗車した状態をいう。  
(以下において同じ。)

・(参考)自動車検査独立行政法人審査事務規定4-1-1-2-2(1)②ア注2抜粋  
ブレーキ・テストのローラ上で前軸重の全ての車輪がロックし、それ以上の制動力を測定することが困難な場合には、その状態で制動力の総和に適合するとみなして差し支えない。

検査時車両状態の重量

計算例(判定例)

		計	算	式	基準値
主制動力の総和	⑫	(630)	(1220+55)		≥50%
				制動力の計⑥÷車両重量C ×100 = 49.4±%	
駐車制動力の総和	⑬	(250)	(1220+55)		≥20%
				手動制動力⑤÷車両重量C ×100 = 19.6±%	
後輪制動力の総和	⑦	(240)	(550)		≥10%
				後輪制動力の和③④÷後軸重B ×100 = 43.6±%	
制動力左右の差	前軸 ⑨	(10)	(670+55)		≤8%
				前軸重の左右差⑧÷前軸重A ×100 = 1.37%	
	後軸 ⑪	(20)	(550)		≤8%
				後軸重の左右差⑩÷後軸重B ×100 = 3.63%	

(注) 制動力の総和  
駐車制動力の総和  
後輪制動力の和  
制動力左右の差

・ 小数点第2位の数値を切り捨て、小数点第1位まで記載する。  
・ 小数点第2位の数値を切り上げ、小数点第1位まで記載する。